

生活交通維持確保路線の状況（令和4年度）

路線名	補助区分	令和4年度における 利用状況		令和4年度 収支比率	令和4年度公費負担額	
		1便あたり 最大利用者数	1便あたり 平均利用者数		市負担額	国県等負担額
① 鳥居原ふれあいの館～橋本駅線	国県補助	41人	16.1人	48.4%	12,518,733円	国 15,800,500円 県 7,900,000円
② 橋本駅～小沢線	国県市補助	39人	14.1人	29.4%	6,513,369円	国 5,006,700円 県 5,006,000円
③ 三ヶ木～半原線	市町補助	19人	2.4人	18.2%	15,956,689円	愛川町 2,659,448円
④ 三ヶ木～東野・月夜野線	市単独	14人	4.5人	15.0%	22,684,903円	
⑤ 三ヶ木～三井・上中沢～橋本駅線	国市補助	47人	15.6人	36.8%	30,966,119円	国 14,942,800円
⑥ 名倉循環線	国市補助	33人	12.7人	50.3%	1,771,305円	国 1,571,000円
⑦ 藤野地区4系統（10月～3月）	国市補助	令和5年度に実施		28.7%	19,371,469円	令和5年度に計上

※赤字は見直し検討基準に該当。見直し検討基準を下回った路線は、沿線地域住民と見直し検討を行う。

見直し検討基準：「ピーク時間帯の1便あたり利用者数が10人未満」または「運賃収入が運行経費の27.5%未満」

令和4年度公費負担額合計 国：3,732万円 県：1,291万円 愛川町：266万円
相模原市負担額：1億978万円（対前年 3,433万円増）
公費負担額計：1億6,267万円（対前年 3,772万円減）